

# 三井E&S造船の艦艇事業譲受け による防衛事業の強化

執行役員

防衛・宇宙セグメント長

阿部 直彦

2021年3月29日

- 陸・海・空・宇宙からサイバー・電磁波空間へ事業領域を拡大
- 無人機システム や サイバーセキュリティ等のデュアルユース製品を展開
- 安全・安心のトータルソリューションを提供

## 防衛・宇宙

### 安全・安心な社会の構築

高い信頼性・安全性・品質の要求 / 最先端技術の開発・実用化



- 着実な事業ポジションの強化
- 省人化・無人化・サイバーセキュリティなど新しいニーズへの取組

国内既存  
周辺分野  
の維持・拡大

サービス分野拡大  
1) MRO&U\*1、教育・訓練  
2) 駐留米軍の修理事業

共同開発、国内装備品  
の移転による  
海外事業展開

安全・安心に向けた  
新技術開発

\*1 Maintenance, Repair, Overhaul & Upgrade

## 2. 譲受け会社の概要

社名	(未定)
本社所在地	岡山県玉野市（現三井E&S造船(株) 玉野艦船工場内）（予定）
事業の内容	<p>① 艦艇・官公庁船事業 艦船・船舶及びこれらに搭載される機器及び装置類の新規製作に関する事業</p> <p>② 特機・水中機器事業 水上航走体及び水中航走体の新規製作に関する事業</p> <p>③ MRO事業 艦船・船舶、これらに搭載される機器及び装置類、水上航走体及び水中航走体の修理、改造等に関する事業</p>
売上高	375億円 ※2020年3月期実績
総資産	207億円 ※2020年3月31日
譲受日	2021年10月1日（予定）



### 3. これまでの両社の主要な協業実績

- 1996年～ 三井造船での潜水艦救難艦「ちはや」の建造
- 2000年～ 三井造船での地球深部探査船「ちきゅう」の建造
- 2009年～ 三井造船での護衛艦「ふゆづき」の建造
- 2018年 10月 新型護衛艦（FFM）の建造契約を防衛省と締結  
本プロジェクトにおいて三井E&S造船との協業を開始
- 2020年 10月 新型護衛艦（FFM）「くまの」進水 （三井E&S造船 玉野艦船工場）
- 2021年 3月 新型護衛艦（FFM）「もがみ」進水 （三菱重工業 長崎造船所）



護衛艦 「ふゆづき」



新型護衛艦 「くまの」



新型護衛艦 「もがみ」

## ① 艦艇・官公庁船事業

三井E&S造船が得意とする多様な補助艦と、  
三菱重工 が得意とする護衛艦は、**製品や開発・設計・建造の各技術分野で補完関係**

互いの強みとする  
技術・技能を融合

- 製品ラインナップの拡充
- 設計機能の共通化と一体運用
- 製造リソースの相互融通

- 操業の平準化、事業規模拡大
- 開発力の強化
- 生産効率の向上

### 三井E&S造船の主な建造艦



潜水艦救難艦 「ちはや」



音響測定艦 「ひびき」



補給艦 「ましゅう」



輸送艦 「おおすみ」

### 三菱重工業の主な建造艦



イージス艦 「あたご」



護衛艦 「あきづき」



護衛艦 「あさひ」



新型護衛艦 「もがみ」

# 4. 本件の意義

## ② 特機・水中機器事業

両社ともに従来から、水上・水中・海底・深海の全領域においてデュアルユースの**省人化・自動化技術や無人機開発**に取り組み中

開発・設計リソースを統合  
開発力の強化と効率化

省人化・無人化製品の開発、市場への投入を加速  
⇒ 自衛隊や官公庁等運用者のニーズに合致  
(少子・高齢化による隊員数減少)

### 三井E&S造船の主製品と取組



自走式機雷処分用弾薬  
(EMD : Expendable Mine Disposal System)



無人機による深海海底探査に係る研究開発

### 三菱重工業の主な製品と取組



自律型水中航走式機雷探知機  
「OZZ-5」



水中航走式機雷掃討具「S-10」  
出典：海上自衛隊ウェブサイト



ROV  
(Remotely Operated Vehicle)



水上無人機に係る研究開発



海底資源掘削用集鉱試験機  
出典：経済産業省ウェブサイト

### ③ MRO事業

三菱重工は、海上自衛隊向けのMRO事業で  
**デジタル技術を駆使し、故障予知、予防保全を中心に運航支援を強化**

護衛艦だけでなく補助艦や官公庁船に対しても、**稼働率向上**や  
**ライフサイクルコスト低減**に貢献するアフターサービスを提供

#### 海上自衛隊各基地の水上艦船を迅速にサポート



# 防衛事業の位置付けと ポートフォリオマネジメント

取締役執行役員

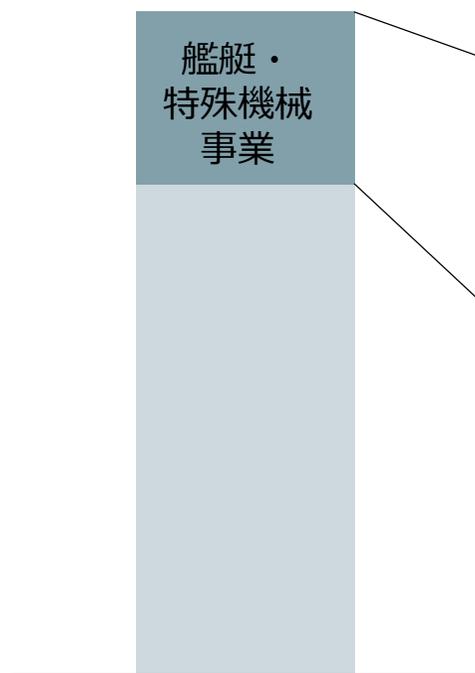
CFO

小澤 壽人

2021年3月29日

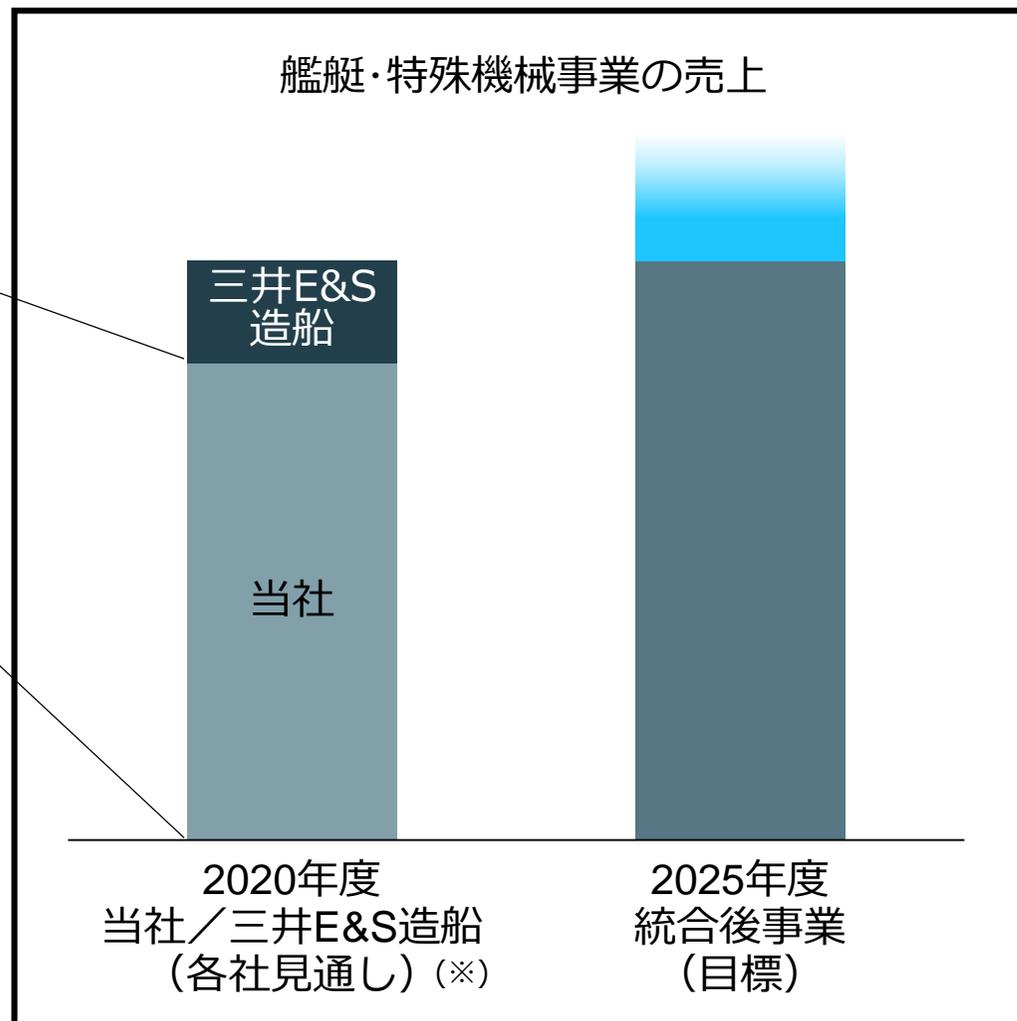
三井E&S造船事業の譲受けにより技術・技能の補完、開発リソースの統合・強化を図ることで、事業規模の安定化、収益力強化につなげる

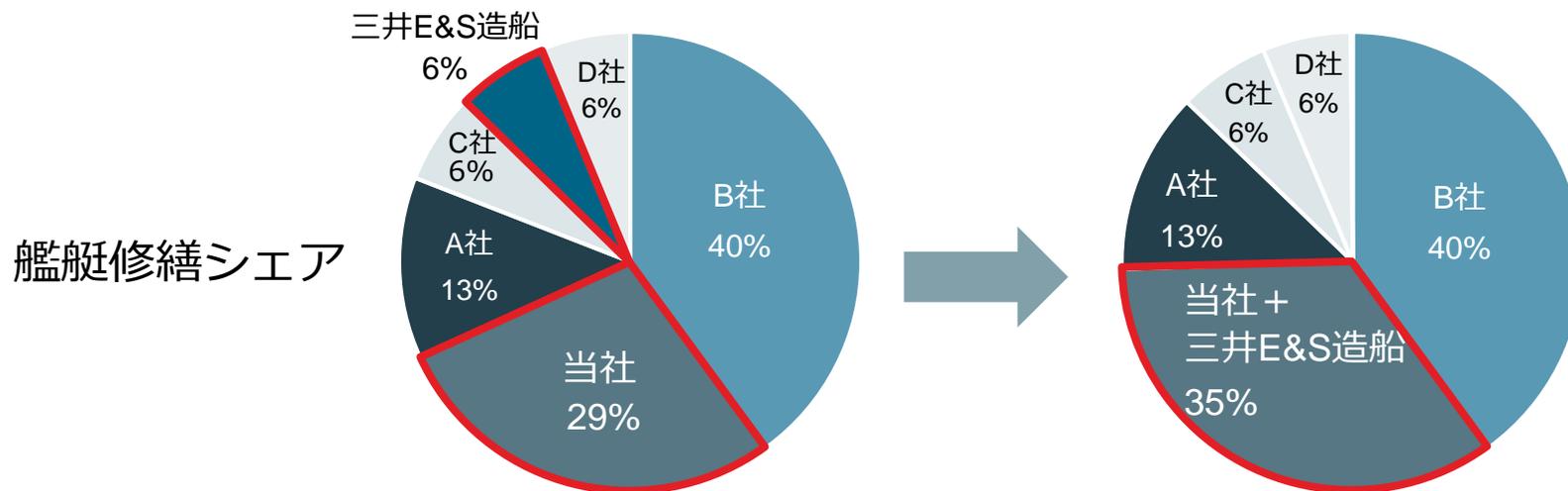
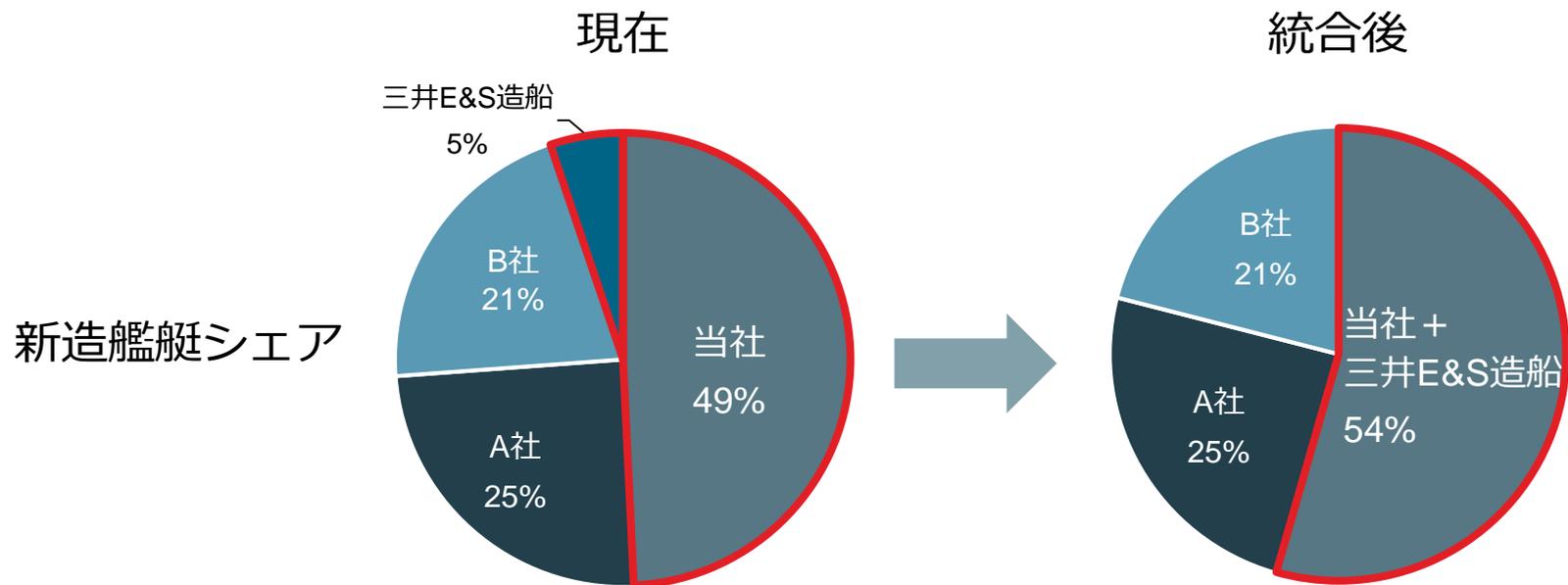
当社 防衛・宇宙事業  
売上収益  
約5,000億円



2020年度 (見通し)

(※)譲受け対象事業の今年度通期売上見通し概算値  
当社業績への寄与は2021年度下期からの予定





※ 当社推定

## 大前提：収益性の回復・強化および成長領域の開拓に資するポートフォリオ入替え

- ・各事業について、当社・他社いずれにおいて伸長が期待できるかを検討
- ・当社でのシナジー・成長が期待できる事業は取り入れる
- ・一方、当社よりも他社での伸長が望める事業については売却・譲渡を検討

- エナジートランジションの推進に向けた  
火力事業（三菱パワー）100%子会社化
- 安定事業強化に向けた三井E&S造船 艦艇事業譲受け
- 洋上風車事業     ビジネスモデル・事業構造の組替え
- 工作機械事業     譲渡
- 香焼工場設備     譲渡（協議中）

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**